【問1】下記の論文群（別冊：A～H）から1つを選び、看護学、理学療法学、作業療法学、放射線技術科学、医科学のいずれかの専門領域における実践の観点にたち、選択した論文の論旨について各自の考え（研究方法、データ分析法、結果の解釈、考察、専門分野との関連性、等）を述べよ。文字数は1000字以内とする。

【問2】問1の解答を基に、研究方法や結果の解釈に対する各自の新しい提案を述べよ。文字数は500字以内とする。

＜論文群＞

A：小倉果緒里, 飯田真理子, 竹内翔子, 篠原枝里子, 中村幸代. 助産師の産後1か月健診時のメンタルヘルススクリーニング実践と関連要因の検討. 母性衛生. 2022, 63(2), 390-399

B：山本洋司, 渡辺広希, 児島範明, 江藤博昭, 松木良介. 急性期くも膜下出血患者における経頭蓋カラードプラ法を用いたHead up Tilt時の脳血流動態評価. 理学療法学. 2025, 52(2), 71-78

C：奥村太朗, 伊勢昇平, 小川侑男, 廣田知佐恵, 桑原康太, 白井智裕. 肩甲下筋断裂併発症例における鏡視下腱板修復術後5週の下垂位外旋可動域と術後12ヶ月の治療成績との関係. 理学療法学. 2025, 52(3), 117-125

D：中口拓真, 安丸直希, 桑田一記, 柳川楓香, 北原佑磨, 石本泰星. 要介護高齢者のBarthel Index悪化確率に基づく訪問リハビリテーション頻度の意思決定曲線分析. 理学療法学. 2025, 52(3), 142-149

E：對間泰雄, 所和彦, 林 朋子. 危険場面走行における脳卒中者と健常者の比較：脳卒中者の自動車運転シミュレータを用いた危険予測の検討. 神奈川作業療法研究. 2024, 14(1), 18-26

F：郡倫一, 吉田有佑, 野田明里, 前田安貴子, 西川文也, 安井真由美, 倉田和馬, 鈴木悠大, 亀川洋希, 西川浩子. 時間外救急 CT・MRI における診療放射線技師による緊急所見の読影補助の有用性. 日本放射線技術学会誌. 2022, 78(6), 582-592

G：柴田真佑里, 岡田亘, 佐野圭佑, 中村憲治, 酒井優佑, 上田悦弘, 上本賢司, 武井良樹, 田ノ岡征雄. Artificial intelligence 技術を活用した膀胱容量自動計測機能搭載超音波装置の放射線治療における有用性. 日本放射線技術学会雑誌. 2022, 78(12), 1406-1414

H：笠井茂輝, 小鳥居快人, 佐野歩夢, 中澤岳斗, 三原良心, 安藤大輔. 聴取する音楽の相違がスプリントパフォーマンス, および心理面に与える影響. 体力科学. 2023, 72(6), 387-398